作・画／吉永直子

小学校の国語で
古典の授業が始まります。
不安に思われている先生方も
多いのではないでしょうか。

小学生に
古典が
わかるの？

何を教えたら
いいの？

難しそう
……

古典の授業経験がない先生方代表

その不安に
私がお答え
しましょう

筑波大学附属小学校 青山由紀先生

古典に「親しむ」ことが
大事なので、きっちり
理解させようと
しなくても大丈夫
なんですよ

たとえば私は
『竹取物語』の
四年生の授業で
まず原文を耳で聞かせる
ところから入ります

先生が昔の
お話を読みます。
どんなお話か
わかったところで
手を挙げてね

「いまはむかし……」

はーい！

まだわからない
はずでは……

子どもたちは、幼いころに読んだ
昔話の語り口や、絵本の挿絵を
おぼえていて、昔話というだけで
全部知っているつもりになっています。

むかしむかし
あるところに

きんたろう

かぐやひめ

はなさかじいさん

知ってる

知ってる

ところで、子どもたちが
本当に昔話を知っているのか
というと……

「たけとりの
おきなといふもの
ありけり」

竹だ！

やっぱりね

かぐやひめだ！

宇宙人の話！

原文を少し読んだだけで、
子どもたちは
想像をふくらませます

古語に
抵抗がない
んですね

意外！

【アンケート結果】昔話を知っている子の割合※

※青山先生が受けもった４年生の子どもたち 39 名に調査。
数字は「あらすじが書ける」と答えた子どもの割合。

私も記憶が
あいまいなものは
絵本を
読んだりします

牛若丸

子どもたちに
「本当は知らない」と
いうことに気づいて
もらうために
クイズをします。

Q1
かぐやひめは
何人に結こんを
申しこまれましたか。

1人！

3人！

100人！

何人かと
あと
おえらいさん

Q2 かぐやひめは結こんしましたか。
しました！
してないよ
そんな気もしてきた
結こんしてりこんした！
Q3 物語の結末は？
月に連れ去られた
死んじゃった
火星にハネムーン♡
子どもたちは記憶のあいまいさに気づきます
私たちの記憶もあいまいかも……
家や図書館で『竹取物語』や『かぐや姫』の本を見つけて次の授業に持ってきてね
こうして昔読んだ『かぐや姫』を読み返すことにつなげます。
この本では5人だよ
人数は書いてないよ
……
おえらいさんってみかどのこと？

次に、プリントを見ながら原文を聞きます。
今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきのみやつことなむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。
千年前の文章だよ。知っている言葉に線を引いてみよう
いま
むかし
たけ
とり
さぬき
20個、線が引けたよ
「さぬき」を本当に知ってるの？
「さぬきうどん」のさぬきでしょ
子どもは「知っている言葉だけをキャッチする力」に長けているんですよ
日常生活でも知らない言葉がたくさんあるから知っている言葉だけを拾うのが得意なんですね
さんずんばかりなるひとといとうつくしゅーていたり
子どもが知っている言葉が多く、リズムのいい『竹取物語』の冒頭部ですから、自然に音読につなげられます。
古典って楽しそうですね
そうなんです。次回もまた具体的な授業をご紹介しましょう
つづく